



2014年3月期決算説明会

パイオニア株式会社
代表取締役 兼 社長執行役員
小谷 進

2014年5月12日

発表のポイント

1. 2014年3月期連結決算実績:

- 営業利益は、構造改革によるコスト削減等により、前期実績、計画をともに上回る112億円を達成
- 当期純損益は、黒字転換し、計画どおりの純利益5億円を達成

2. 2015年3月期連結業績予想:

- カーエレクトロニクスを中心に増収増益を図ることで、売上5,150億円、営業利益125億円、純利益20億円を見込む

本日の説明

1. 2014年3月期 連結決算
2. 2015年3月期 連結業績予想

当プレゼンテーション中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報、将来の事象、その他の結果によってこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上するユーロ、米ドル、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合併、提携またはその他事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

1. 2014年3月期連結決算

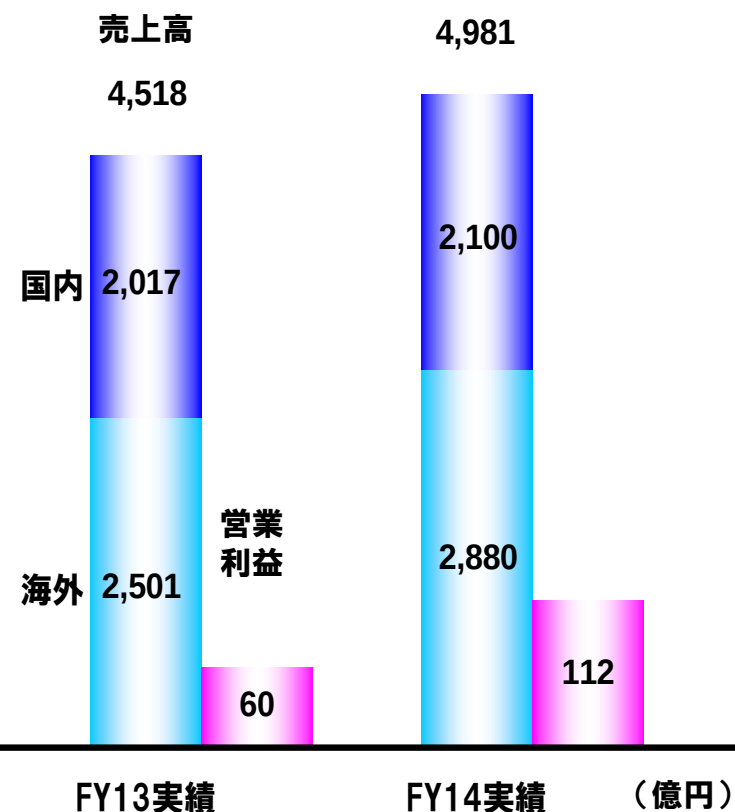
2014年3月期：通期連結業績概要

(単位:億円)

	FY14実績	FY13実績	前期比	《ご参考》 2月12日予想
売上高	4,981	4,518	110.2%	5,050
営業利益	112	60	186.2%	100
経常利益	51	8	6.3倍	50
当期純損益	5	-196	-	5

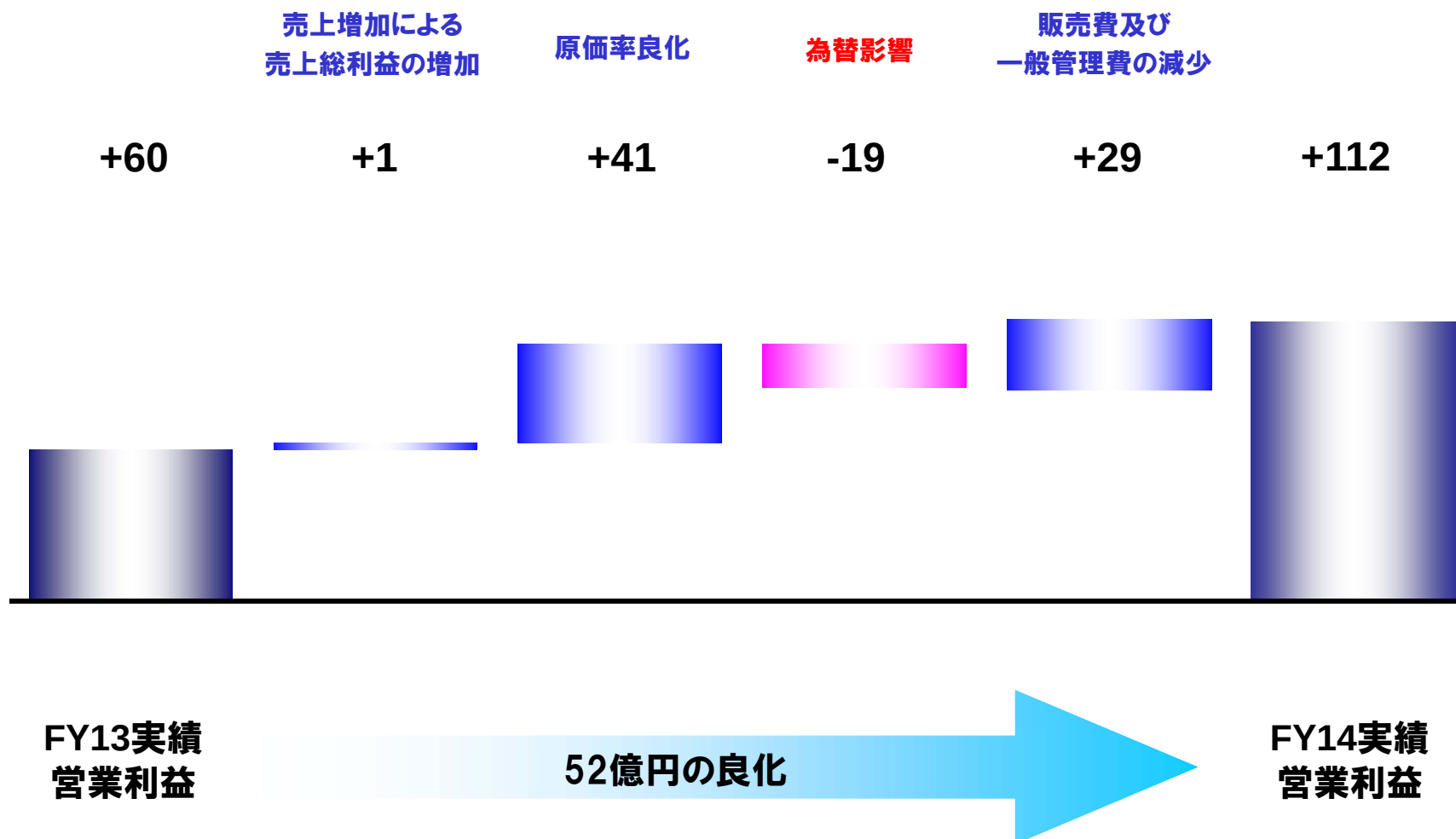
		FY14実績	FY13実績	前期比	《ご参考》 2月12日時点
為替平均 レート	1USドル	100.24円	83.10円	+17.1%	99.54円
	1ユーロ	134.37円	107.14円	+20.3%	132.92円

	FY14実績	FY13実績	前期比	《ご参考》 2月12日予想
1株当たり純損益	1.49円	-60.90円	+62.39円	1.42円
ROE	0.7%	-24.4%	+25.1%	0.6%
1株当たり純資産	197.33円	237.97円	-40.64円	217.17円
ROA	0.2%	-6.2%	+6.4%	0.2%



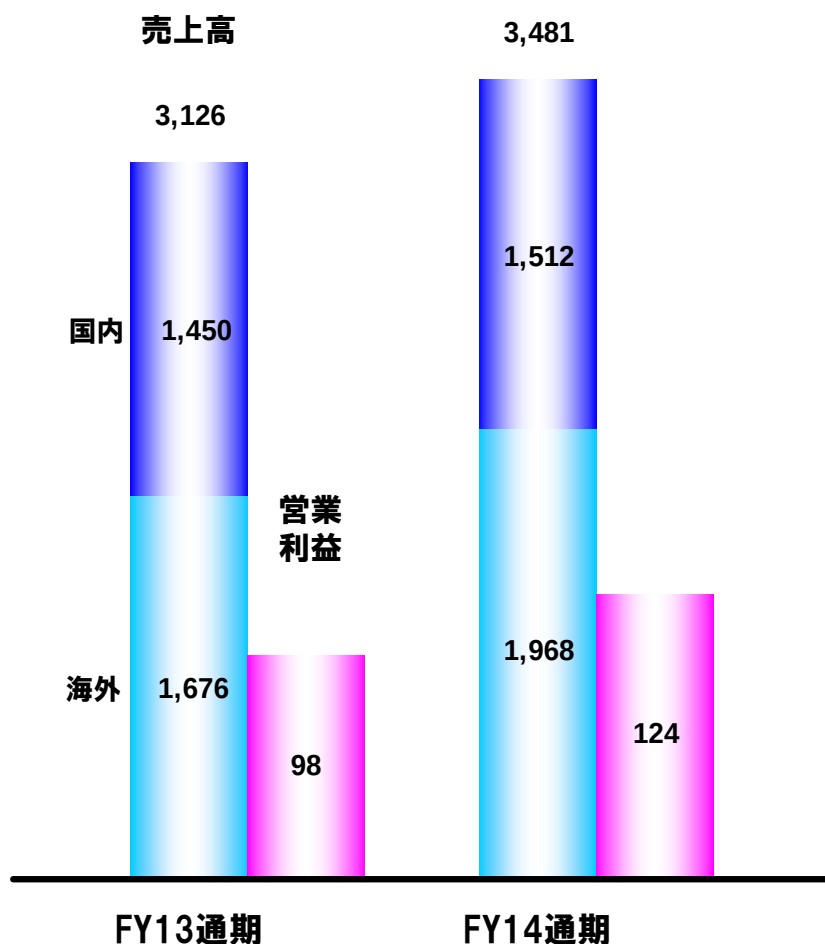
2014年3月期 営業利益増減要因

(単位:億円)



2014年3月期セグメント別売上高・営業利益：カーエレクトロニクス

(単位:億円)



< 売上高 > OEM比率 54% (前期 51%)

対前期	111% (国内 104%、海外 117%)
増収要因	OEMカーナビゲーションシステム OEMカーオーディオ 市販カーオーディオ
減収要因	市販カーナビゲーションシステム

< 営業利益 >

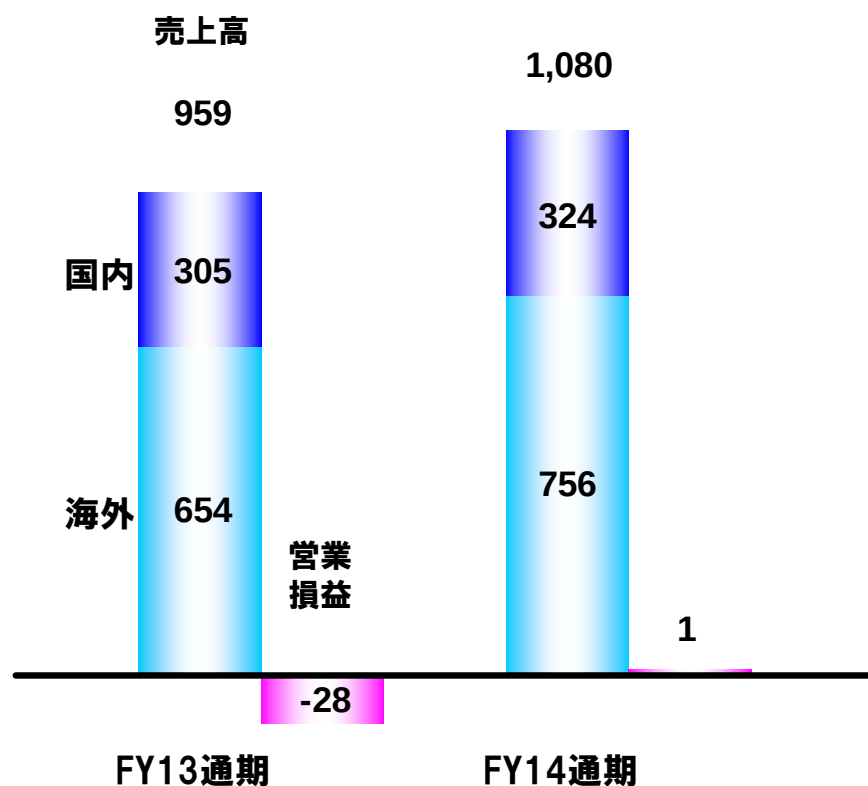
対前期	26億円の良化
良化要因	原価率良化(+31億円) 販売費及び一般管理費の減少(+23億円) 売上増による売上総利益増加(+9億円)
悪化要因	為替影響(-36億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品：
カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、
カースピーカー

注)セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2014年3月期セグメント別売上高・営業損益： ホームエレクトロニクス

(単位:億円)



< 売上高 >

対前期	113% (国内 106%、海外 116%)
増収要因	DJ機器 CATV関連機器
減収要因	光ディスクドライブ関連製品

< 営業損益 >

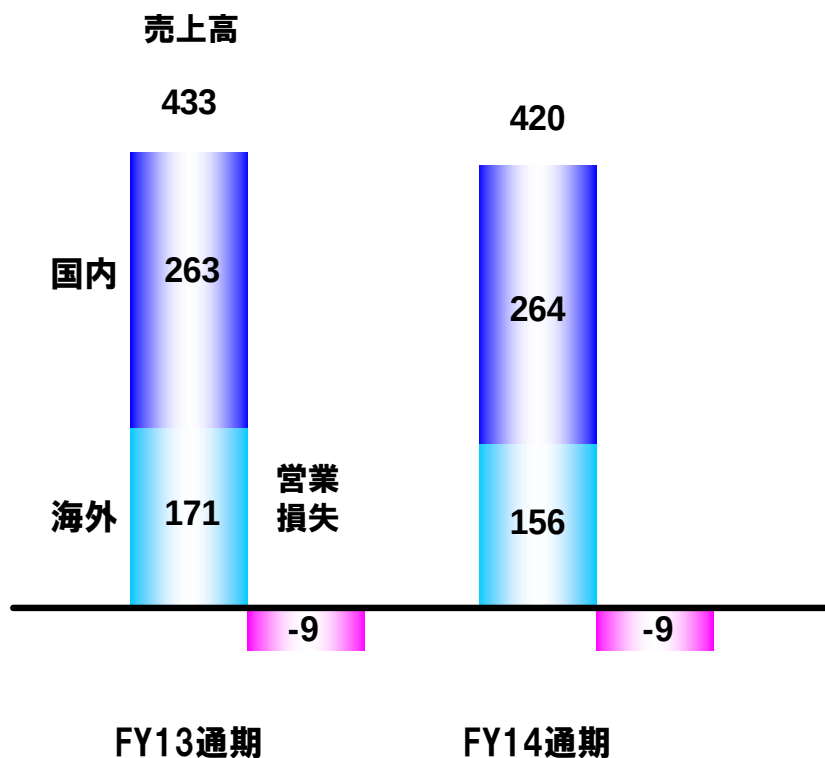
対前期	29億円の良化
良化要因	為替影響(+18億円) 販売費及び一般管理費の減少(+15億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品:
AVシステム、オーディオコンポーネント、DJ機器、CATV関連機器、
ブルーレイディスクプレーヤー、ブルーレイディスクドライブ、
DVDプレーヤー、DVDドライブ、AVアクセサリ

注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2014年3月期セグメント別売上高・営業損益： その他

(単位:億円)



< 売上高 >

対前期	97% (国内 100%、海外 91%)
増収要因	電子部品、スピーカーユニット、地図ソフト
減収要因	FA機器

< 営業損失 >

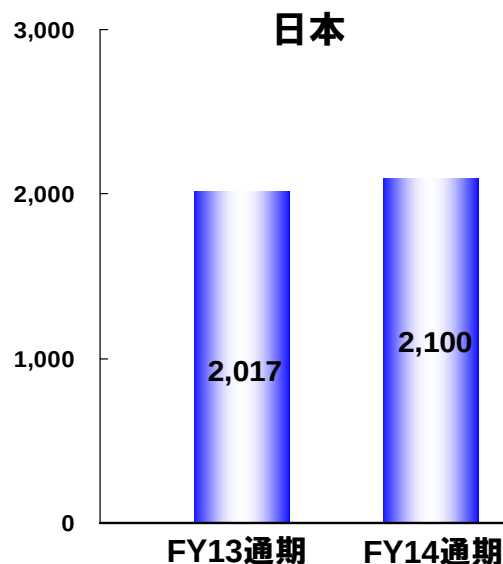
対前期	5千万円の良化
良化要因	原価率良化(+8億円)
悪化要因	販売費及び一般管理費の増加(-4億円) 売上減による売上総利益の減少(-3億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品：
FA機器、スピーカーユニット、電子部品、有機ELディスプレイ、
電話機、業務用AVシステム、EMS(電子機器受託製造サービス)、
地図ソフト、光ディスク関連特許の使用許諾

注)セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2014年3月期：地域別売上高

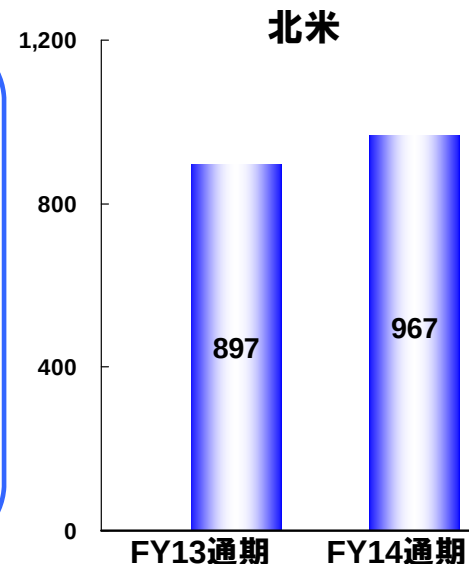
(単位:億円)



FY14 前期比
104%

増収要因
OEMカーナビゲーションシステム
CATV関連機器
OEMカーオーディオ

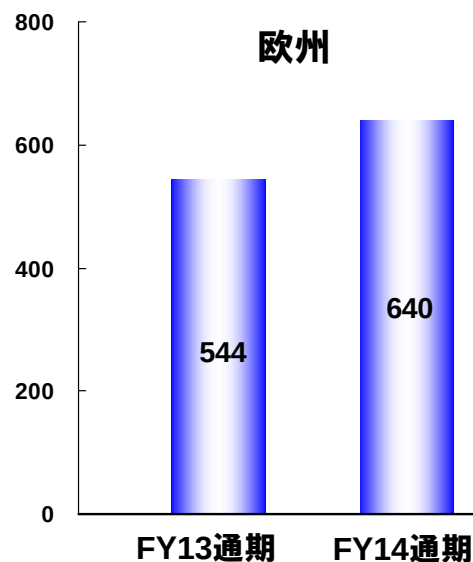
減収要因
市販カーナビゲーションシステム
光ディスクドライブ関連製品



FY14 前期比
円ベース：108%
現地通貨ベース：90%

増収要因
OEM & 市販カーオーディオDJ機器

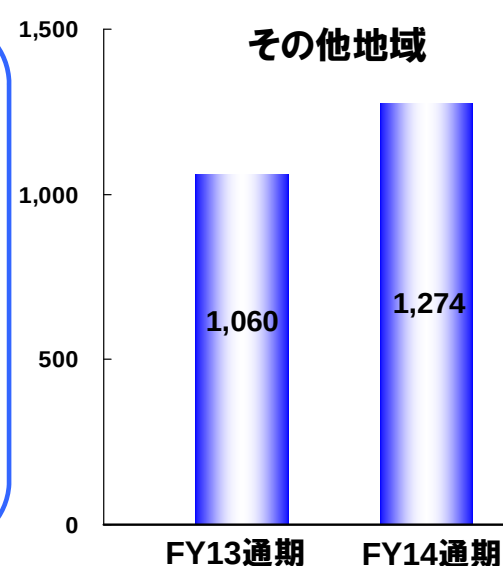
減収要因
ホームAV製品



FY14 前期比
円ベース：118%
現地通貨ベース：96%

増収要因
市販カーオーディオ
OEMカーオーディオ
DJ機器
ホームAV製品

減収要因
特になし



FY14前期比
円ベース：120%
現地通貨ベース：104%

増収要因
市販 & OEMカーオーディオ
OEMカーナビゲーションシステム
DJ機器

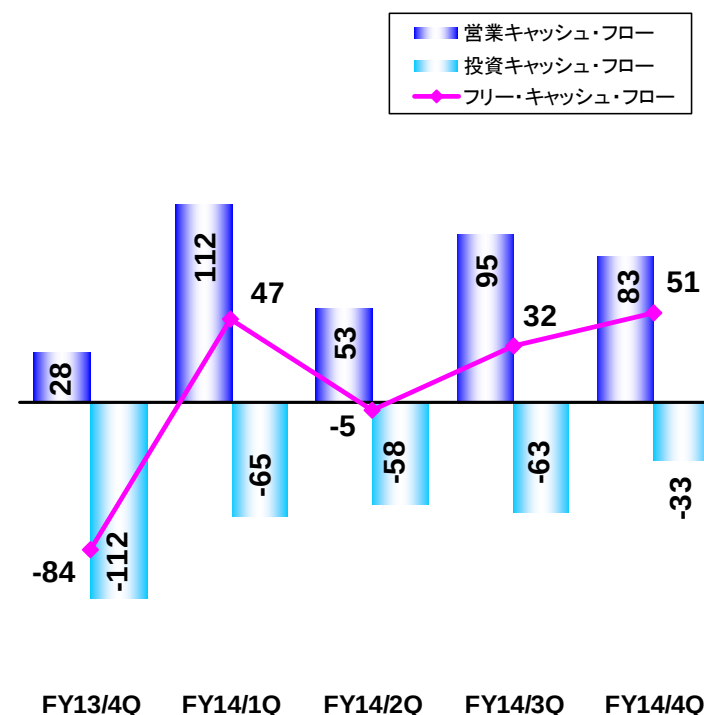
減収要因
光ディスクドライブ関連製品

2014年3月期：連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	FY14通期	FY13通期
税金等調整前当期純損益	57	-108
減価償却費	249	254
退職給付引当金の増減(＊)	2	18
事業構造改善費用引当金の増減	-62	62
投資有価証券評価損	0	50
売上債権の増減	-86	36
棚卸資産の増減	98	-14
仕入債務の増減	113	-187
未払費用の増減	30	-98
その他	-57	-3
営業キャッシュ・フロー	342	12
投資キャッシュ・フロー	-219	-352
財務キャッシュ・フロー	-9	70
現金・現金同等物の換算差額	14	21
フリー・キャッシュ・フロー	124	-341

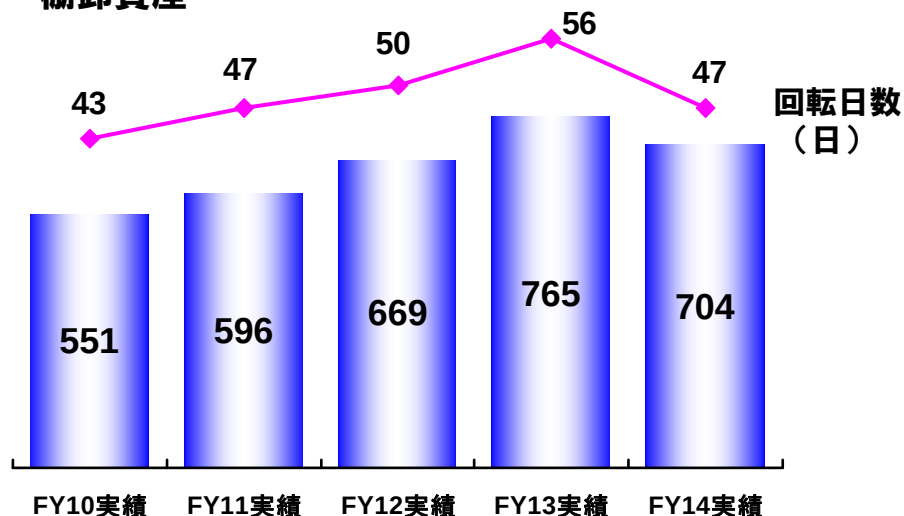
現金・現金同等物の増減	129	-250
現金・現金同等物の残高	339	210
NETキャッシュ残高	-535	-752



注) (＊)「退職給付に係る負債の増減額」を含んでいます。

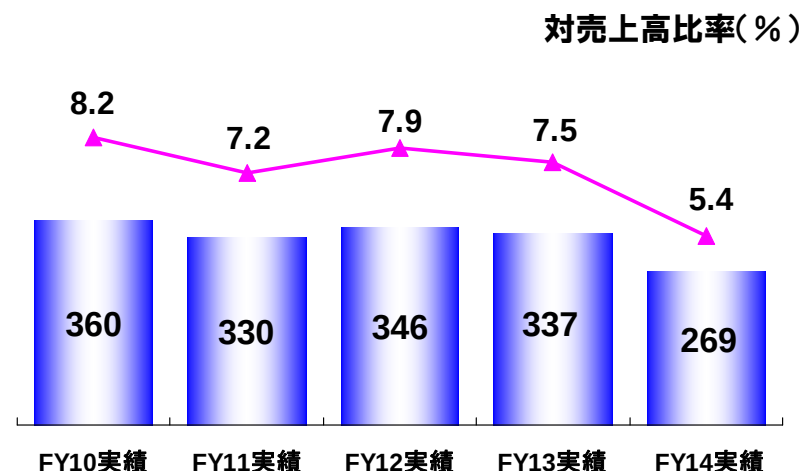
2014年3月期：棚卸資産、研究開発費、設備投資、減価償却費

棚卸資産

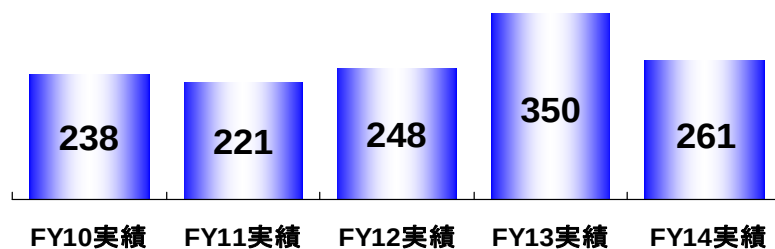


研究開発費

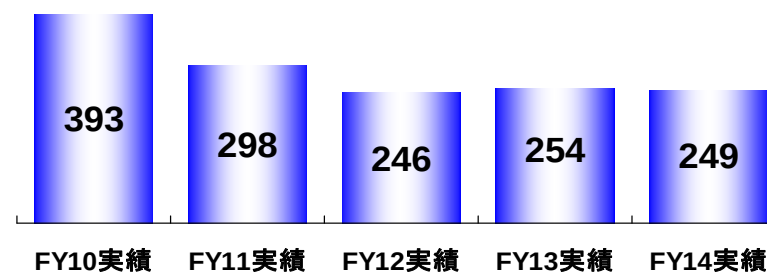
(単位:億円)



設備投資



減価償却費



2. 2015年3月期連結業績予想

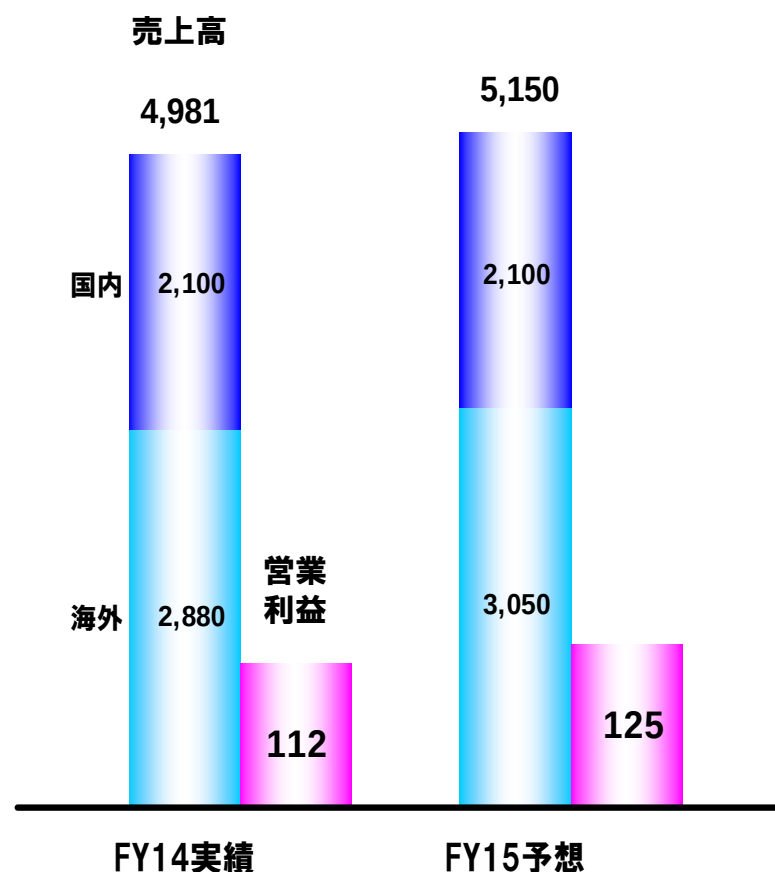
2015年3月期：通期連結業績予想

(単位：億円)

	FY15予想	FY14実績	前期比
売上高	5,150	4,981	103.4%
営業利益	125	112	111.9%
経常利益	75	51	146.7%
当期純利益	20	5	376.6%

		FY15予想	FY14実績	前期比
為替前提 レート	1USドル	100円	100.24円	-0.2%
	1ユーロ	135円	134.37円	+0.5%

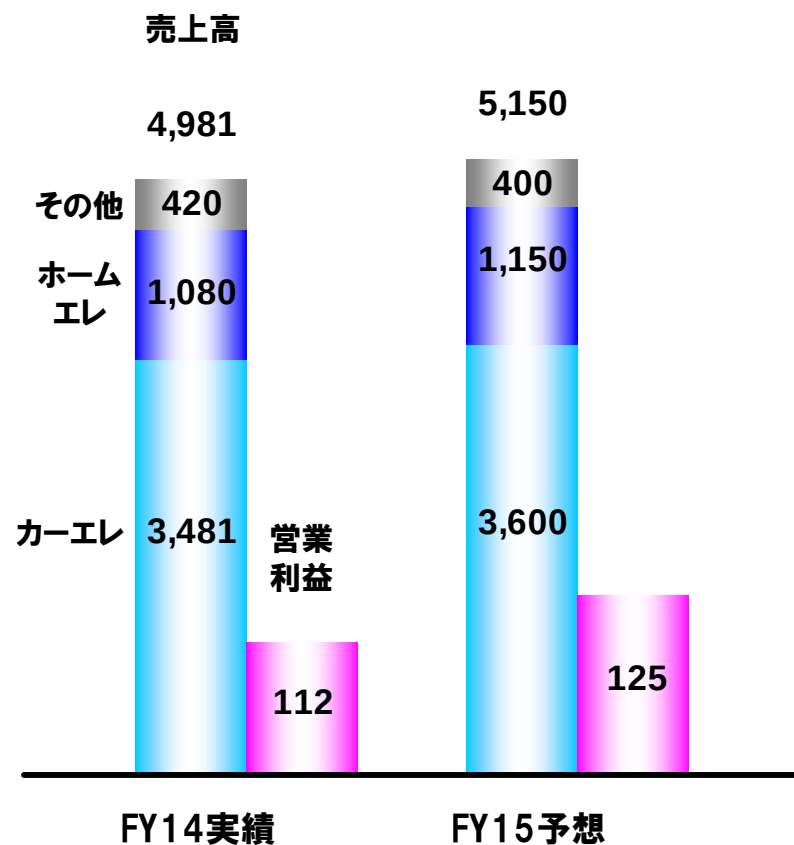
	FY15予想	FY14実績	前期比
1株当たり純利益	5.45円	1.49円	+3.96円
ROE	2.7%	0.7%	+2.0%
1株当たり純資産	202.78円	197.33円	+5.45円
ROA	0.6%	0.2%	+0.4%



(注) 1円の円安インパクト(通期)は、売上高では、US\$は約25.6億円、€は約4.9億円、
営業利益では、US\$は約▲4.7億円、€は約3.4億円。

2015年3月期：通期連結業績予想（セグメント別）

（単位：億円）



【セグメント別営業損益】

	FY15 予想	FY14 実績	前期比
カーエレ	130	124	104.6%
ホームエレ	5	1	549.5%
その他	-10	-9	-
本社	0	-5	-
合計	125	112	111.9%

注)セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2015年3月期 計画のポイント

- **売上 5,150億円、前期比 103%**
 - ・ カーエレクトロニクスは、国内市販カーナビゲーションは、主にポータブルタイプの減少を見込んでいることから減収となるが、海外市販カーオーディオの拡大や、OEMカーナビゲーションの受注増により伸長
 - ・ ホームエレクトロニクスは、DJ機器が欧州を中心に引き続き成長
- **営業利益 125億円、前期比 112%**
 - ・ 売上増による売上総利益の増加や原価率の良化
 - ・ 構造改革の短期的施策の終了等による固定費の増加
 - ・ 前期スタートした中長期的な収益基盤強化のための施策の効果は今期末以降。今後の営業利益計画は、中期事業計画で発表予定

2015年3月期予想： 前期実績との比較

【売上高】

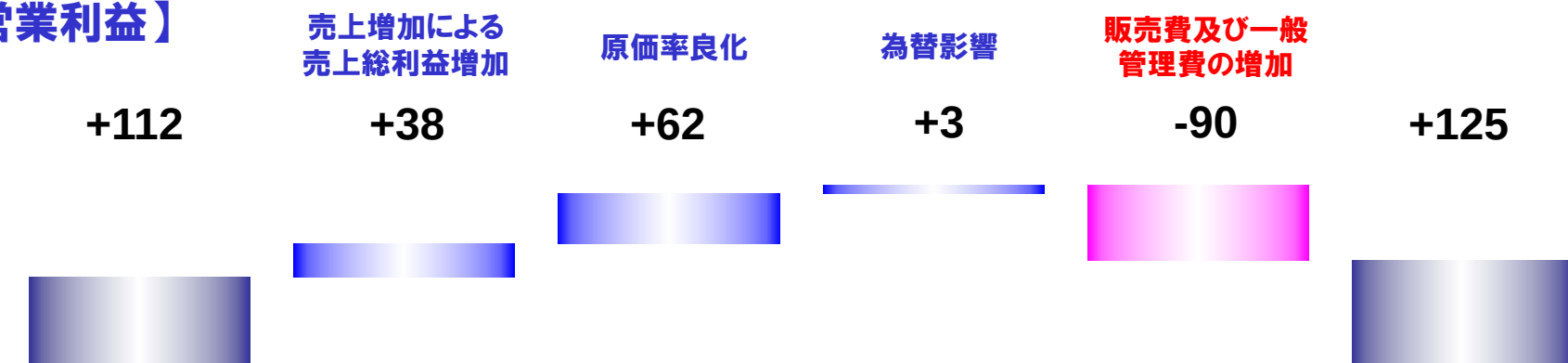
(単位:億円)

FY14実績
売上高

169億円の増加

FY15予想
売上高

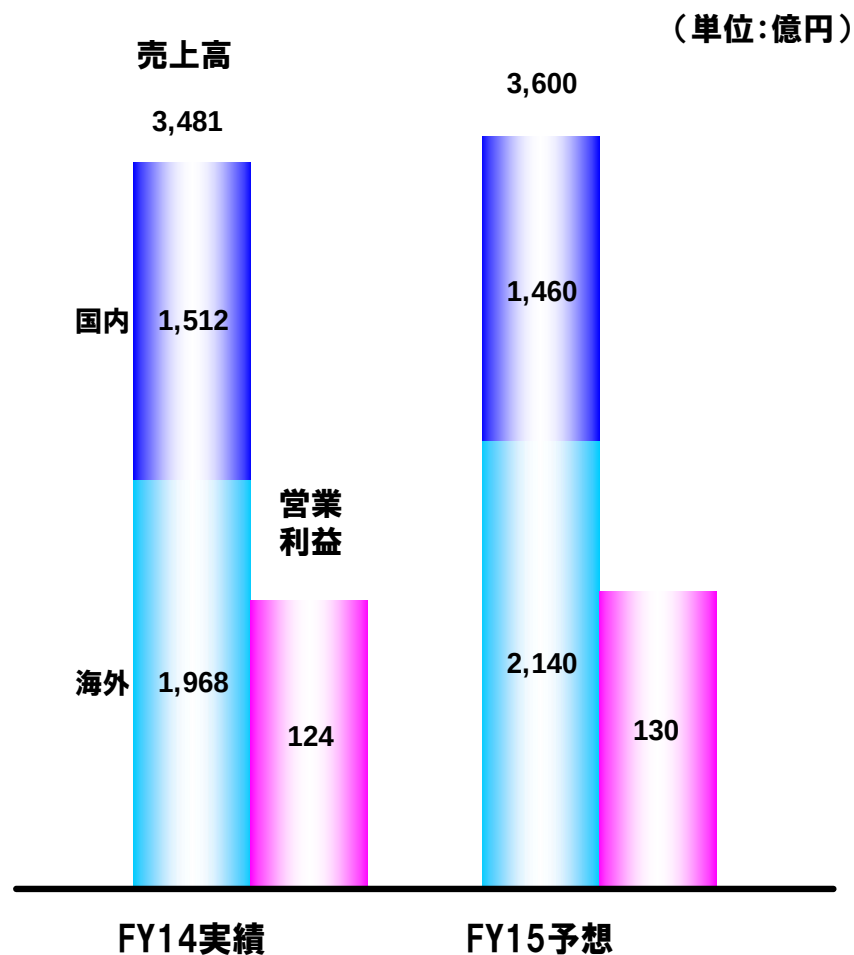
【営業利益】

FY14実績
営業利益

13億円の増加

FY15予想
営業利益

2015年3月期予想：カーエレクトロニクス



< 売上高 > OEM比率 53% (前期 54%)

対前期	103% (国内 97%、海外 109%)
増収要因	市販カーオーディオ OEMカーナビゲーションシステム

< 営業利益 >

対前期	6億円の良化
良化要因	原価率の良化 (+46億円) 売上増に伴う売上総利益の増加 (+26億円) 為替影響 (+2億円)
悪化要因	販売費及び一般管理費の増加 (-68億円)

< 出荷台数 >

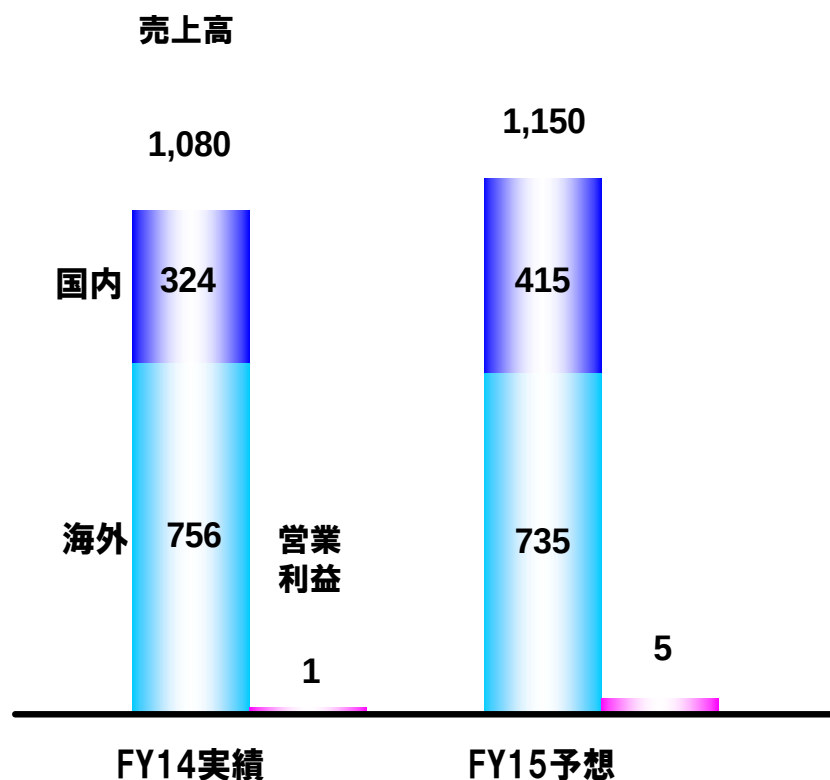
(単位: 千台)

	FY14実績	FY15予想
市販カーナビ	835	820
市販カーCD	7,999	8,650

注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2015年3月期予想: ホームエレクトロニクス

(単位: 億円)



< 売上高 >

対前期	106% (国内 128%、海外 97%)
増収要因	CATV関連機器、DJ機器、電話機(組み替え)
減収要因	ホームAV製品

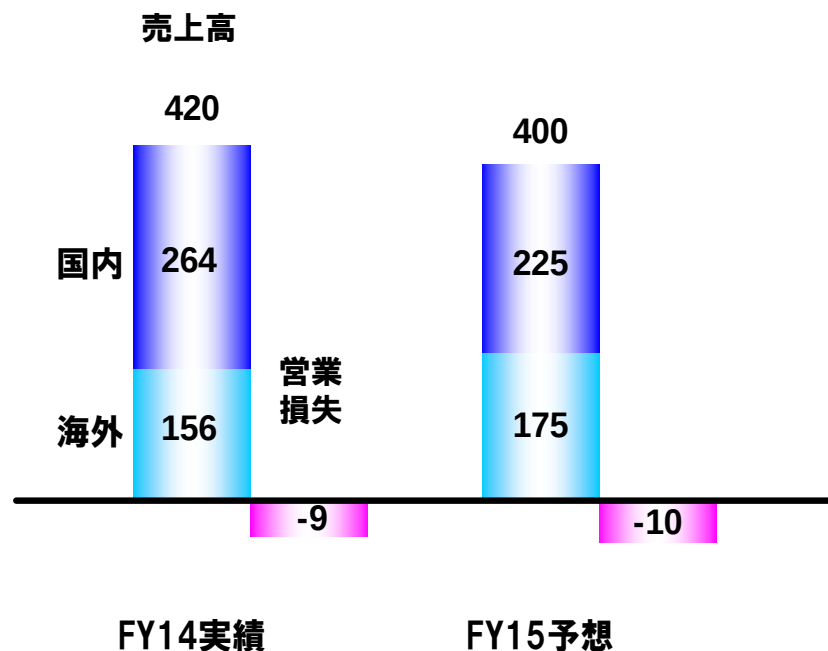
< 営業利益 >

対前期	4億円の良化
良化要因	原価率の良化 (+29億円) 売上増に伴う売上総利益の増加 (+14億円) 為替影響 (+1億円)
悪化要因	販売費及び一般管理費の増加 (-40億円)

注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
 2. 従来「その他」に含まれていた電話機を、今期より「ホームエレクトロニクス」に変更します。

2015年3月期予想: その他

(単位:億円)



< 売上高 >

対前期	95% (国内 85%、海外 112%)
増収要因	FA機器
減収要因	電話機(組み替え)、業務用AVシステム

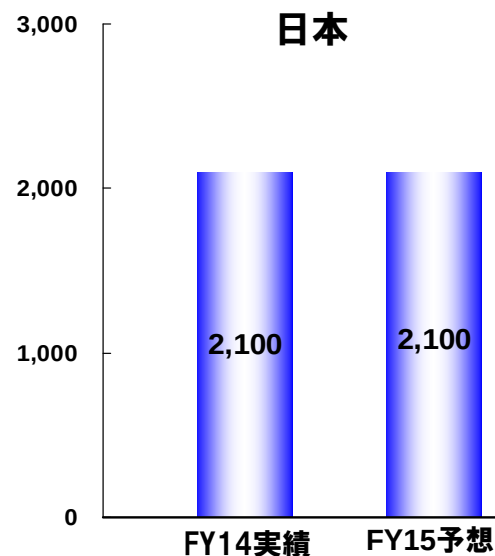
< 営業損失 >

対前期	1億円の悪化
良化要因	原価率の改善(+6億円)
悪化要因	販売費および一般管理費の増加(-4億円) 売上減に伴う売上総利益の減少(-3億円)

- 注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
 2. 従来「その他」に含まれていた電話機を、今期より「ホームエレクトロニクス」に変更します。

2015年3月期：地域別売上高

(単位:億円)



FY15 前期比

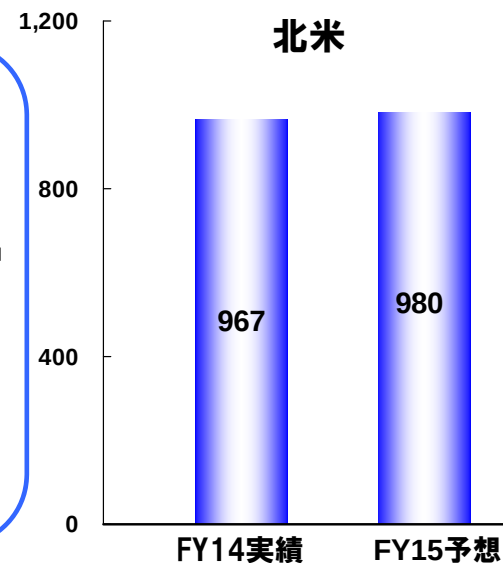
100%

増収要因

CATV関連機器
光ディスクドライブ関連製品
FA機器

減収要因

市販カーナビゲーション
システム



FY15 前期比

円ベース：101%

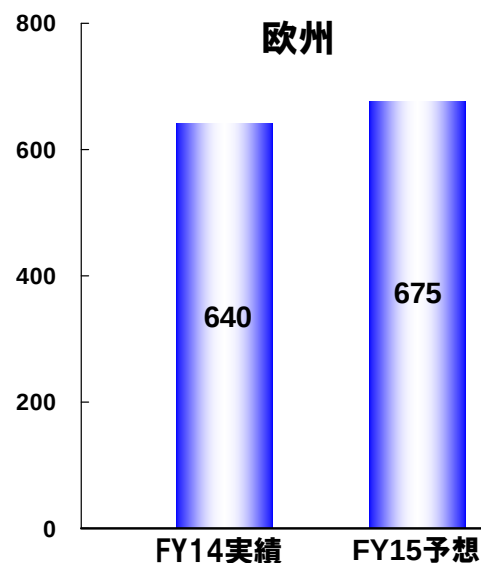
現地通貨ベース：102%

増収要因

市販&OEMカーオーディオ
市販カーナビゲーション
システム
DJ機器

減収要因

特になし



FY15 前期比

円ベース：105%

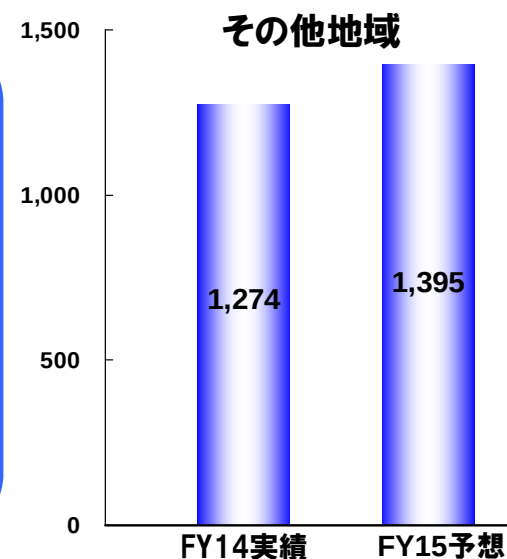
現地通貨ベース：105%

増収要因

市販カーオーディオ &
カーナビゲーション
システム
OEMカーオーディオ
DJ機器

減収要因

特になし



FY15 前期比

円ベース：110%

現地通貨ベース：111%

増収要因

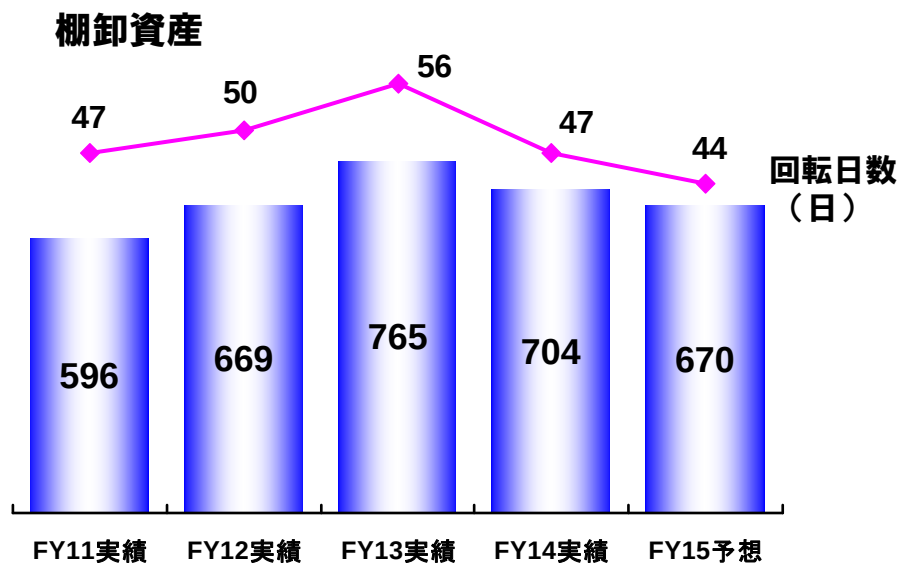
OEMカーナビゲーション
システム
市販カーオーディオ
DJ機器
FA機器

減収要因

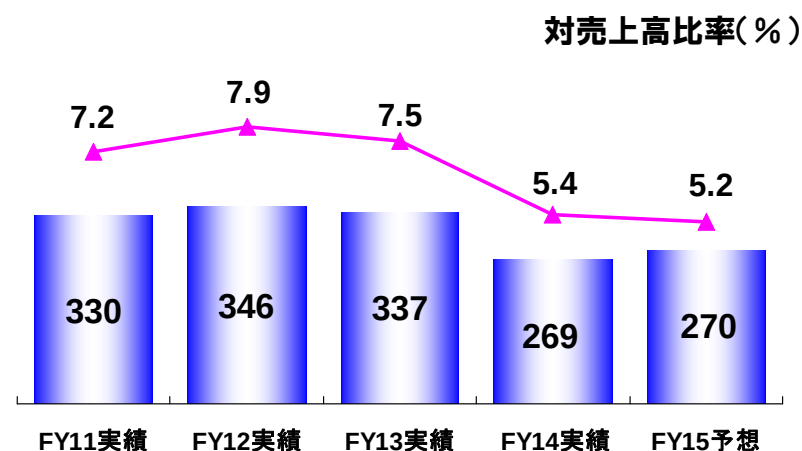
ホームAV製品

2015年3月期：棚卸資産、研究開発費、設備投資、減価償却費

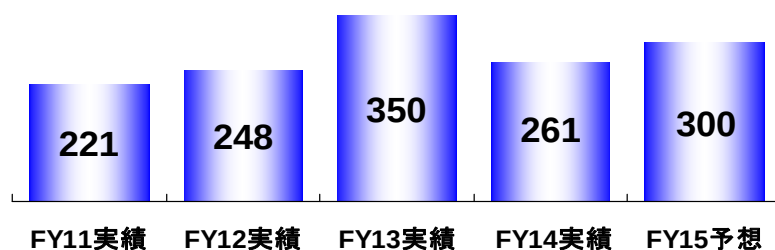
(単位:億円)



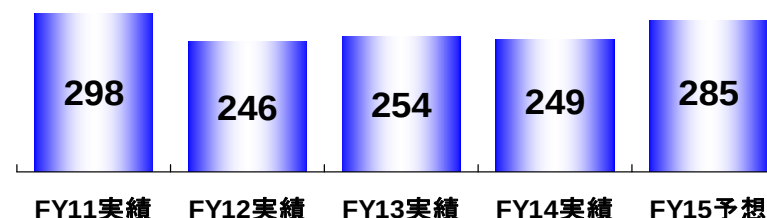
研究開発費



設備投資



減価償却費



2015年3月期予想： キャッシュ・フローおよび財務指標

(単位:億円)

	FY13実績	FY14実績	FY15予想
営業キャッシュ・フロー	12	342	330
投資キャッシュ・フロー	-352	-219	-300
財務キャッシュ・フロー	70	-9	-90
フリー・キャッシュ・フロー	-341	124	30

	FY13実績	FY14実績	FY15予想
純 資 産	816	778	800
自 己 資 本 比 率	25%	22%	23%
ネット有利子負債	742	521	510
D / E 比 率	1.3倍	1.2倍	1.1倍
現 金 及 び 預 金	221	354	290

- 注) 1. 「投資キャッシュ・フロー」、「現金及び預金」には、3ヵ月超の定期預金を含んでいます。
 2. FY14以降の「純資産」には、退職給付会計基準に基づく未認識年金債務を計上しています。
 3. D/E 比率＝有利子負債÷(純資産－少数株主持分)

Pioneer